

平成31年度 学校経営方針

○滋賀の教育の基本目標

未来を拓く心豊かでたくましい人づくり ～ 人生100年を見据えた『共に生きる』滋賀の教育

- 子ども一人ひとりの個性を大切にし、生きる力を育む
- 社会全体で支え合い子どもを育む
- すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習を振興する

○長浜の教育方針

「長浜子どものちかい」「長浜子育て憲章」

つながりあい、学びあい、豊かに生きる人づくりをめざす「ながはま」

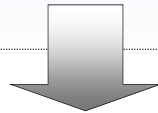
- 子どもの自立に向け「生きる力」を育む
- 学校・家庭・地域とのつながりを深める
- 地域の伝統・文化を生かし、郷土を愛する心を育てる

○びわ地域：園・小・中連携教育の重点

たくましく 夢に向かって びわっ子

- 夢や目標をもち、それに向かって努力する子
- 思いやりのある心のやさしい子
- ふるさとを愛し、誇りをもって生きる子

進取



創造

1 学校教育目標

○豊かな創造力 広い心で未来を切り拓く たくましい子

2 めざす子ども像

○自分に自信を持ち 夢や希望を育む子

・自ら学ぶ子（すすんで）・思いやりのある子（やさしく）・たくましい子（たくましく）
《笑顔いっぱい》 《友だちいっぱい》 《やる気いっぱい》

3 めざす学校像

- ★目に美しく（はきもの揃え・姿勢）
- ★耳に美しく（言葉づかい）
- ★心に美しい学校（挨拶・読書）

4 めざす教師像

- よりよい授業をめざし、研修に努める教師（「切磋琢磨」・OJTの推進）
- 専門的力量と人間的な魅力を兼ね備えた教師（向上心）
- 信頼される教師（使命感）

5 重点事項

①《笑顔いっぱい》

- 授業改善：自己の考えを広げ深める対話的な学び、聞く力の醸成、ノート展
- 学力の向上：学習規律・学習環境の確立、家庭学習習慣の定着
- 個に応じた指導：特別支援教育の推進、インクルーシブ教育の推進

②《友だちいっぱい》

- 道徳教育の推進：考え議論する道徳の推進、道徳的実践力の向上
- 自尊感情を育む取組：挨拶・返事・履き物そろえ、詩や百人一首の暗唱
- いじめを許さない集団作り：自己決定の力の育成、人権の日、たてわり掃除

③《やる気いっぱい》

- 運動習慣の確立とやり抜く心の育成：運動会、マラソン大会の取組
- 基本的生活習慣の確立：立腰、食の自己管理能力
- 自らの命を守る力：避難訓練、不審者対応訓練、引き渡し訓練

④「地域とともにある学校づくり」の推進

- 学校運営協議会との連携・協働
- 活気と喜びに満ちあふれる学校（教職員・保護者・地域での目指す姿の共有）
- ふるさと学習の推進：ふるさと「びわ」に愛着と誇りが持てる子どもの育成

6 「チームびわ南」合言葉 “もっと！「We Love a Challenge」”



「稽古照今」

- * いにしえに思いを馳せ
今を考える。
- * 先人の教えから学ぶ。

校訓 進取 創造

* ふるさとへの愛着・誇り

「伝統の継承」

豊かな創造力 広い心で未来を切り拓く たくましい子の育成

↓ * 不易流行

- 昭和31年 大郷村と竹生村が合併、「びわ村」となる。
- 昭和46年 町制施行により「びわ町」が誕生。
- 平成18年 長浜市・浅井町・びわ町が新長浜市としてスタート。

新しい価値を見出す 豊かな「創造力」

We Love a Challenge

東には霊峰「伊吹山」西には「琵琶湖」そして「竹生島」を臨む

びわ地域は、自然と文化、人々が調和する「人と歴史が織りなすみずべの里」

CSびわ南：学校運営協議会との連携・協働

創立145周年

～ 郷土びわが誇れる豊かな地域資源の再確認 ～

* 社会に開かれた教育課程の実現

ふるさと学習

先人の知恵、歴史、文化に学ぶ

具体のプラン

- ふるさと「びわ」に愛着・誇りが持てる子ども
もの育成
- [1・2年]
- ・学校探検 ・季節の移り変わりや自然
- ・地域のお年寄りとの交流
- ・昔の遊び体験 ・昔話を聞く
- [3・4年]
- ・校区探検 ・暮らしを支える働く人から学ぶ
- ・昔の暮らし ・姉川の水生生物調査
- ・障害者理解体験 ・1/2成人式
- [5・6年]
- ・びわの福祉を考える ・ボランティア活動
- ・びわ湖フローティングスクール
- ・びわの歴史や文化の再発見 ・びわから世界へ

めざすところを地域と共有

- びわの名産物
- ・ぶどう（南浜）・鮎
- びわの名所探し・観光スポット
- びわ伝統行事・祭り
- ・各字の祭り
- 先人の知恵・郷土を開く田川カルバート
- 姉川の上流と下流の生物調査
- ・「やまのこ」
- 世界に誇る技術・びわ工業団地
- びわ湖の自然
- ・「フローティングスクール」
- 竹生島タブノキ再生プロジェクト（5年・11月）
- 富田人形浄瑠璃に学ぶプロジェクト（6年・10月）

外部リソースの積極活用
学校支援ボランティアの方々との協働

- * 人口減少局面を迎えた社会
- * 急激な少子高齢化
- * やりがい・生きがい

保護者・地域の願いを受け止める

- * 生産年齢人口が減少
- * 次代の産業を担う
人の育成が急務
- * 伝統芸能を継承する
人の育成が急務

教育実践の重点

びわの子どもはびわで育てる

「挨拶」「返事」「履き物揃え」「立腰」

「できた」「わかった」「がんばった」という教育の営みを子どもとともに積み上げ
自分に「自信」が持てる子どもを育てる

教職員は教育公務員として

地域とともにある「びわ南小」の存在意義と本校教育の使命を自覚する

高い使命感と気概を備える人材育成



皆が切磋琢磨する

- 自分づくりを広げられる人
- 知恵と心を生かせる人
- 誰かの役に立ちたいと思える人

OJT
創造

研究主題

調和のとれた人格の陶冶

国語力を鍛え、自信を持って表現することのできる子どもの育成

職務を通じて絆を深める

- 学びの足跡がわかる
「ノートづくり」
・ノート指導10箇条
- 家庭学習や読書活動の推進

- 創作活動「詩・俳句・川柳」
- 詩や百人一首の暗唱
- 一人ひとりの自尊感情を高める

夢と希望を持って 郷土びわを思い 地域社会に貢献したいと願う「人」づくり

10年後、20年後の地域の未来を担う「人」を育てる